

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ワンピース		2025年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	どちらともいえない 1人 大部屋と小部屋に分かれているので、必要に応じて部屋を分けて使うようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	どちらともいえない 1人 外部講師の研修や面談を行っている。また、フィードバックをもらい改善に繋げている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	どちらともいえない 1人 プログラム立案ルールによって毎月のプログラムを複数人で考えている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	どちらともいえない 3人 職員間での情報共有ツールを用いて、気付いた点は情報共有を行っている。	毎日、時間を決めて振り返りを行い、良かった点や反省を共有する時間を設けたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	どちらともいえない 1人 その日の日案作成者が、反省や課題を記録として残している。また、振り返りが出来るようにデータとして残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	どちらともいえない 3人 相談支援事業所を通じて、就学前の様子や情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	どちらともいえない 1人 相談支援事業所を通じて、必要な情報や書類（個別支援計画書等）を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	必要に応じて、こちらから連絡をとり、助言をもらう機会を作っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	どちらともいえない 2人 同法人内のイベントに参加して、地域の他の子どもと活動する機会がある。	地域のイベントに積極的に参加するように心がける。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	無回答 1人 毎月のプログラムやその日のプログラムの概要や昼食・おやつをの情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1	ワンピースダンス部の発表会のイベントに声をかけて案内しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	無回答 1人 避難訓練や感染症対策の研修を定期的に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	どちらもいえない 1人 虐待についての研修を毎年行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンピース

公表日 2025年3月31日

利用児童数 60

回収数 35

		チェック項目					ご意見
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	3	0	0	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	4	0	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	3	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	3	0	1	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	3	0	0	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	0	1	0	支援プログラムを基に日々の支援、また、一人一人に沿った個別支援計画を作成しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	0	0	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	3	0	0	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	3	1	0	プログラム作成担当者が月や曜日によって固定化しないように作成しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	15	7	1	同法人内のイベントに参加して、地域の他のこどもと活動する機会があります。また、ご意見も踏まえて地域のイベントに積極的に参加するように心がけます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	2	2	0	放課後等デイサービス計画を基にした個別支援計画を作成し、説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	3	1	0	同法人内で家族と支援者と社会が繋がる場「LOOP」を定期的で開催しています。その中で研修や親睦会等を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	34	1	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	2	0	1	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	2	0	1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	7	2	0	同法人内で家族と支援者と社会が繋がる場「LOOP」を定期的で開催しています。その中で研修や親睦会等を行っています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	3	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	1	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	3	0	0	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	1	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	2	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	34	1	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	2	0	0	

設問の意見ではありませんが、所々は少し分からないと思う箇所もありました。説明なりチラシや案内などはキチンとありましたので私が参加希望などを出してなかったりで分からないだけです。	ご回答ありがとうございます。ご不明な点がございましたら、説明させていただきます。	日々支援していただき、感謝しております。不満があるというわけではありませんが、満足しているかと言われると、もう少し具体的にさまざまな事案について提案してもらえるといいなと思うことがあります。困っているから相談をするというよりも、こちらがしてほしいことを伝えて取り組んでもらうことがベースかなと感じています。	貴重なご意見ありがとうございます。現在、サービス利用計画を基に利用者一人一人にあった目標を個別支援計画として作成しています。その中での課題について相談させて頂きたいと思っています。
その他にも子供達のことをよく見てくださってるのだなと伝わる親子共々安心して預けられる施設だと思います。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を承りありがとうございます。		
今後も利用させていただきたいです。	ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。		
いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。	ご回答ありがとうございます。いつもご利用ありがとうございます。		
週2回利用希望したのですが、枠がなく通えず残念です。もう少し受け入れて貰えたら嬉しいです。人気がなかなか入らないですね。	ご回答ありがとうございます。契約曜日に関しまして、定員の上限もあり、ご期待に添えず申し訳ございません。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンピース		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		～ 2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	応用行動分析(ABA)を用いた療育を行っています。	応用行動分析の有資格者を中心に療育についての話し合いを重ねて、より良い支援について日々取り組んでいます。また、年3回程度ABAのコンサルティングや研修を受けています。	保護者との面談やモニタリング・支援会議等で保護者や各関係機関に対して応用行動分析を用いた療育を共有する事で、統一した支援を行う事が出来る。
2	伸ばしたい能力の違いでグループを分けて支援している。	SSTや就労に向けての取り組み(同法人内の就労継続支援B型事業所での活動)・公共交通機関を用いての外出等をプログラムに組み込んでいます。	現在、継続して行っている取り組みを継続して行う事で定着できるように行う。また、成長や年齢に応じて対象者を増やす事で幅を広げたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの箇所が少ない。	玄関から活動スペースに上がるのに、段差がありスロープが無い。また、手すりがある箇所も少ない。	バリアフリー化に向けて、スロープや手すりの設置。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	フンステップ				公表日	2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	どちらともいえない 1人		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	どちらともいえない 1人 専用個別部屋はありませんが、必要に応じて着替え部屋や職員室を個別対応が必要な場合に使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	0	どちらともいえない 6人 公表義務化が始まる来年度に合わせ、現在支援プログラムの作成作業を進めている段階です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	どちらともいえない 4人 当日の支援終了後に必ず行なうことは出来て いませんが、後日振り返り記録やその記録を 職員間へ共有することは必ず行なっていま す。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		どちらともいえない 1人
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		どちらともいえない 1人
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワンステップ

公表日 2025年3月31日

利用児童数 80

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1	0	0	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	2	0	0	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	4	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	0	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	0	0	1	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1	0	0	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	2	0	0	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	16	16	5	0	ご希望をされておられないケースもありますので、慎重に検討させていただきます。今年度はプログラムにて、地域のお祭りに参加をさせていただきました。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1	0	0	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	3	2	0	LOOPにて勉強会を実施させていただいております。たくさんの方にご参加いただけますよう、今後も日時の設定や勉強会や講演会の実施や案内について積極的にお声掛けさせていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	2	1	0	年に1度面談を実施させていただいておりますが、その他随時（様子を聞きたい・相談がある等様々）面談等のご希望がございましたら、いつでも機会をもたせていただきます。ご遠慮なくお申し出くださいませ。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	0	0	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	13	2	0	LOOPにて茶話会や勉強会等を実施させていただいております。ご希望がございましたら、保護者様同士の交流や職員との交流の場だけでなくきょうだい向けの交流の場を設ける等検討させていただきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	1	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	37	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	4	0	0	日常の活動についてはInstagramにて情報を発信させていただいておりますので、よろしければご覧になっていただけたらと思います。また、自己評価表等は、HPにて公表させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	3	1	0	公式LINEにて、感染症対応や緊急時対応についてはお知らせさせていただいております。また、定期的に職員研修を実施し、避難訓練等も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	5	0	1	学期ごとに、避難訓練プログラムを実施させていただいております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	3	0	1	活動スペースや活動時、送迎時など十分に安全面に考慮し支援を実施させていただいております。気になる点や、ご心配なことがございましたら、ご連絡なくおっしゃっていただけると幸いです。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	8	0	0	お子様に怪我等がございましたら、速やかにご連絡をさせていただき、ご説明させていただきます。万が一、わかりにくいことやご心配等がございましたら、ご連絡なくおっしゃってください。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	いつも保護者の皆様方にはご協力いただき、感謝しております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	2	0	0	お子様が安心できる、楽しい場を提供できるよう、今後もより一層努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1	0	0	保護者様からのご意見等を踏まえ、今後もより一層安心してご利用いただけるよう努力してまいります。

保護者様からのコメント	事業所よりコメント
いつもありがとうございます。	こちらこそ、いつもありがとうございます。
放課後等児童クラブ等との活動は特に望んでいません。なので、どちらとも言えないにチェックを付けています。	ご回答ありがとうございます。いつもご利用ありがとうございます。
ワンステップに通ってから2年ほどお世話になっています。今では、自分の苦手にも向き合えるようになりました。その機会を与え、応援していただける環境に、とても感謝しています。	いつもご利用ありがとうございます。お子様の成長を一緒に見守らせていただき、寄り添えることを職員一同感謝しております。
支援の先生方がとても勉強されていて、子供の様子をよく見て、その子に合った支援をして下さっています。	いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。今後もお子様に合った支援が提供できるように、職員一同より一層努力してまいります。
先生も保護者の相談にも親身になりアドバイスして下さいます。	いつもご利用ありがとうございます。今後もお子様だけでなく保護者の方にも安心してご相談いただけるような場であれるように、より一層努力してまいります。
とても質の高い事業所であり、通わせていただけたことが有り難いです。	いつもご利用ありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。
いつも丁寧に、子どもが自分で取り組もうと思えるような小さな成功体験や共感体験をさせていただき、心から感謝いたします。一緒に子どもをサポートしていく、と言う姿勢が何よりもありがたく、ワンステップさんがなければ今のような小学生生活は難しかったと思います。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。一緒にお子様を成長を見守らせていただき、サポートさせていただけることを職員一同感謝しております。
子どもはワンステップさんへの通所を毎回とても楽しみにしています。	いつもご利用ありがとうございます。今後もお子様が安心して様々な経験を積んでいける様なプログラムを設定していきます！
豊かな放課後を与えられること、本当に有り難いです。今後もこのような事業を続けていただきたく、出来る支援はしていきたいです。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。
保護者への寄り添いだけでなく、きめ細やかなご配慮に感謝しております。	こちらこそ、いつもご理解ご協力を賜りありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。
ラクソウでの利用日の報告の内容が、先生によってこういう風に言われたら傷つくなと感じる時がある。	ご回答ありがとうございます。ご不快な思いをおかけし申し訳ありません。気になる点がございましたらいつでもご連絡いただければと思います。今後どうぞよろしく願いいたします。
状況において、しっかり対応いただき満足しています。	いつもご利用ありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンステップ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	80	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性に応じた専門的支援を行なっている。	通常の集団プログラムに加え、様々な小集団グループを設定することで、より個々の課題に合った支援を行なえるようにしている。	個々が抱えている課題や時代の流れに沿ったアプローチが行なえるように日々のアセスメントを丁寧に行なっていく。
2	利用児本人と保護者様両方へアプローチを行なっている。	利用児本人への支援はもちろん、保護者様へ対してデイ利用当日の様子を各家庭に細かくアプリにてお伝えし、気になることやご相談事がある場合はお電話や面談の機会を設定している。	より適切かつ迅速に対応ができるように職員間連携を深めていく。
3	利用児が安心感を持って通所できる環境配慮をしている。	利用児にとって苦手なことや自分自身に向き合う機会を設けているため、嫌な場所・行きたくない場所にならないように、達成感や楽しみを感じられるようなプログラム設定や声掛けを意識している。	今後も利用児が安心して楽しく通所できるように、様々なプログラム設定を行なっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流の機会を少ない。	児童館へ行くプログラムや、地域のお祭りイベントへ行くプログラム機会を設けていますが、設定頻度は少ないです。地域の他の子どもとの交流を望まないご意見も頂いているので、望まれている方のみが参加できるように設定している。	地域交流を望んでいる方・望んでいない方それぞれの方に配慮したプログラム設定をし、様々な形で地域交流方法を模索していく。
2	父母の会や保護者会開催等により保護者同士の交流の機会やきょうだい向けイベント等開催によりきょうだい児同士の交流の機会が少ない。	LOOP活動で保護者同士の交流の機会を設けたり(学期に1回程度)、インフェスプログラムできょうだい児の参加を受け入れたり(年1回程度)していますが、機会は少ないです。	より多くの保護者様やきょうだい児が参加できるような機会設定をしていく。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	LOOP活動でご家族向けの研修会を行なったり(学期に1回程度)、LINEVOOMにて外部研修のチラシ案内を添付したり(年数回)していますが、機会は少ないです。	より多くの保護者様が参加できるような研修会設定や情報提供が行なえるように情報収集をしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フントゥーワン児童発達				公表日	2025年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	どちらともいえない 1人 もうすぐ1ねんせいという小集団のプログラムでは小学校の教室をイメージできるように構成し工夫している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0	どちらともいえない 2人 もうすぐ1ねんせいの活動を相談支援の方に見学してもらったり、個別では別の事業所のスタッフが来られる機会があった。ご意見いただいたものは反映している。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	0	4	基本送迎を行っていない。園とのやり取りは今年度はなかった。必要になった場合は丁寧に共有できる体制を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	1	どちらともいえない 3人 今年度は、インフェス（無限のお祭り）にお誘いした。そこには、利用者のきょうだいやそのほか子どもとの交流があった。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	4		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワントゥーワン児童発達

公表日 2025年3月31日

利用児童数 8

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	0	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	4	2	0	保育園や幼稚園に在籍している利用児が中心です。お子様たち自身が日常的に障害のないお子さんたちと活動する機会が多いので、こちらではあえて機会を設けていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	1	0	事業所主催の勉強会を開催しました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	5	1	0	0	毎回、保護者様に当日の様子をお伝えしています。また、公式LINEで来所前に保護者様から利用児の様子をお知らせいただくこともありました。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	1	0	児童発達支援では特に父母の会を作っていませんが、放課後等デイサービスに移行してご利用の場合、保護者様と支援者の研修や繋がりの場であるLoopという会があります。ぜひ入会してください。 きょうだい同士の交流の場等は現在ありません。今後の検討課題です。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	3	0	0	職員で訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	2	0	0	緊急時にはすぐにご連絡できるように複数の連絡先をご登録いただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワントゥーワン児童発達		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達年齢からの早期療育ができること。 個別で取り組むことで関係性や保護者様とのコミュニケーションも丁寧に行える。	1対1でのご利用児、保護者様との関係性づくり	面談の時間を増やす 机に向っての学習だけでなく手先や動きや個別だからこそ丁寧に取り組めることも取り入れる。
2	小集団のもう少し1ねんせいでは、小学校に向けての準備、小学校への入学への不安が少しでもなくなるサポートを心がけている。	もう少し1ねんせいでは、環境づくりから小学校でこれから経験することを楽しく体験できるように工夫している。	回数を増やしたり、利用時間を伸ばしたりして活動内容を充実させる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	もう少し1ねんせいでは、10月からの開始で3月までという短い関わりで終了のご利用児もいる。	定員の問題で放課後サービスにつながらないこと。	もう少し1ねんせいご利用児のその後の様子なども聞き取ったり、相談できる場所であることを伝える。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	フントゥーワン				公表日	2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0			

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0	0	どちらもいえない 5人 当日の支援開始前に打ち合わせを行わない場合は前日までに情報共有を行ったり、定期ミーティングで共有したり等で連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	1	どちらもいえない 4人 支援終了後に必ず打ち合わせを行なうことはしていませんが、必要な情報や振り返りは定期ミーティングにて共有・連携しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	0	どちらもいえない 3人 相談支援事業所と連携し、各関係機関との情報共有が必要な場合は支援会議等に参加しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	0	どちらもいえない 5人 連携や情報共有を図って助言を受ける場合がありますが、研修を受ける機会はありませんでした。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	0	どちらもいえない 4人 外部の子ども達との関わりを望まれていない保護者様が多いため、機会を作る場合は慎重に検討しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	弊社別事業所で行なうことはありましたが、ワントゥーワンとしては行ないませんでした。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ワントゥーワン

公表日 2025年3月31日

利用児童数 54

回収数 33

	チェック項目					ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	3	0	0	基準のスペースは確保できております。小集団等は1階のオープンルームを利用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	0	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	8	1	0	個室の対応が必要な利用児については、2階の小部屋、または1階のオープンルームを利用しています。身体的にバリアフリーが必要な利用児は現在いらっしゃいません。怪我、骨折等階段の上り下りができない利用児については可能な限り1階のオープンルームで対応しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	1	0	0	個別対応と小集団を可能な限り分けて、活動しております。清潔な環境を保持できるよう、毎日清掃と消毒をしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	0	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	0	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	0	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	0	放課後等デイサービスガイドラインで示される通りに必要な項目を設定しております。個別支援計画をご覧ください。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	0	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	5	0	0	繰り返しが必要なプログラムは固定化することがありますが、それ以外はなるべく固定化しないよう工夫しております。プログラムの変更等ご希望がございましたら、いつでもお知らせください。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	15	11	1	外部の子どもたちとの関わりを望まれない保護者様が多いです。ピアの立場で、中学生に対して高校生が関わる機会を設けたことがあります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	2	0	0	1年に1回以上、個別面談で、次回の個別支援計画についての目標についてお話しする機会を設けています。できあがった個別支援計画はご説明のうえ、保護者様にご署名いただいております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	2	2	0	行っております。家族と支援者のための研修やつながりの場としてLooPという会を作っており、1学期に1回以上のペースで研修や茶話会、施設見学等行っております。ぜひご参加ください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	0	0	0	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	1	0	1年に一回は面談の機会を設けるとともに、それ以外でもご希望がありましたらその都度面談を設定させていただいております。お電話での相談も受けつけております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1	0	0	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	10	2	1	父母の会はありませんが、質問14に書きましたように、LooPという会で保護者様や職員の交流の場を設けております。きょうだい向けのイベントとしてはインフェス（法人のお祭り）やダンス部の発表会等にご参加いただいております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	0	利用児の相談についてはすぐに対応するようにしております。保護者様もお申し入れがあるときには、すぐに対応させていただいております。いつでもご相談いただける旨、個別支援計画の家族支援の項目に記入させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	1	0	1	いつでもご連絡いただけますように、保護者様と携帯電話を所有する利用児には公式LINEをご登録いただいております。お電話もご利用ください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	4	0	0	発信しております。特別なお知らせやイベントについてはラクソウと公式LINEでお知らせしております。Instagramでも活動内容を発信しております。自己評価の結果はホームページをご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1	0	0	十分に留意しております。ご安心ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	7	2	0	緊急時対応、感染症対策につきましては、全員の保護者様にご登録いただいております公式LINEのトップページに貼り付けております。また、感染症対策、災害等訓練は職員で研修や訓練を行っております。避難訓練週間を設定し利用児にも災害を想定した訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	8	1	0	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	4	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	9	0	1	事故等が発生した場合は、速やかに連絡や対応ができるように、保護者様の連絡先を複数登録させていただくとともに、職員間で連携して対応するよう日ごろから話し合っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	1	1	0	学習については「向き合う」ことが難しい段階の利用児もいます。One to Oneで学んだことで自信がもてるよう工夫を凝らしていけるように考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワントゥーワン		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性等に応じた専門性のある支援を提供している。	個々の特性や課題に応じてアプローチできるように、様々な学習教材やアプローチ方法を日々探求している。	目的別小集団やワンステップの集団と情報等共有し、個別支援で習得した課題を集団で落とし込めるようにしていく。不定期で個別の担当者の変更を行い、担当者に対してプログラム課題の評価、アドバイスする機会を設ける。また、支援の幅を広げるため、支援者会議で課題の協議を行う。
2	日頃から利用児の状況を保護者様と伝え合い、利用児の健康や発達の状況について共通理解ができている。	毎回の授業後に保護者様へその日の取り組みを報告する時間を設けている。	利用日の利用児の心身の健康状態や気になることは、事前に公式LINEや電話にて保護者様から共有していただくことができることを周知していく。支援後の報告の時間が足りないと感じられた時にも、ご遠慮なく公式LINEや電話でお問い合わせいただけることを周知していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流の機会を少ない。	異年齢(高校生→中学生)での活動や、希望者を募った上で小集団で地域イベントへ行く機会があった。地域の他の子どもとの交流を望まないご意見も頂いているので、望まれている方のみが参加できるように設定している。	地域交流を望んでいる方・望んでいない方それぞれの方に配慮した機会設定をし、様々な形で地域交流方法を模索していく。
2	父母の会や保護者会開催等により保護者同士の交流の機会やきょうだい向けイベント等開催によりきょうだい児同士の交流の機会が少ない。	LOOP活動で保護者同士の交流の機会を設けたり(学期に1回程度)、インフェスプログラムできょうだい児の参加を受け入れたり(年1回程度)していますが、機会は少ない。	より多くの保護者様やきょうだい児が参加できるような機会設定をしていく。
3	障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に行なえていない。	建物の2階で支援を行なうことが多いため、物理的なバリアフリーができていない。	配慮が必要な方へは建物の1階オープンルームを使用したり、2階の小部屋で他児が入らない形で個室空間を保ったりしている。要望や必要に応じてきめ細やかに対応していく。